

写真複写

昭和一九八二〇・二〇・六三三

第六十二師団司令部戦闘経過概要

32A 残務整理部

防衛研修所戦史部



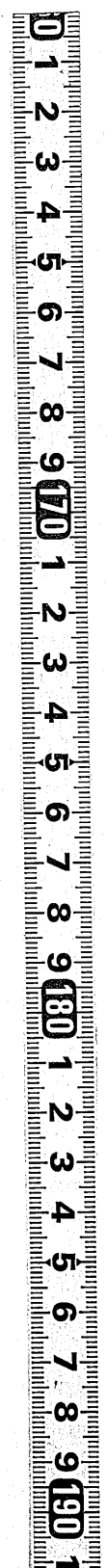
15

第六十二師團司令部戰圖經過概要

昭和二十二年三月二十五日
昭和二十四年五月二十一日

G-2 第三十二軍殘務整理部
戰史課 複寫

14
87



八月二十一日及二十二日後方主任參謀ヲシテ各隊ノ揚陸並ニ隊屬貨部ノ前送

ノ旨ヲ立案ス

八月二十二日 那覇市ニ於ケル戰團司令部ニ幕下各部隊長ヲ集合セシメ上陸

最初ノ部隊長會同ヲ實施ス

八月二十三日 浦添村仲間ニ戰團司令部ヲ開設後方業務ノ一部ヲ殘置シ那覇

市戰團司令部ヲ閉鎖仲間ニ轉進シ爾後作戰準備ヲ指導セリ

2. 副官部

管理班ノ兵力ヲ増強シ八月二十日ヨリ司令部隊屬貨物ノ揚陸前送ニ全力ヲ傾

注處理ス

3. 管理班

各部班ヨリ差出ノ兵力ヲ統一指揮シ揚陸作業並ニ隊屬貨物ノ前送處理ニ務ム

八月二十日 那覇市ニ戰團司令部開設各部班ノ宿營給與ヲ實施ス

八月二十三日 師團司令部豫定地タル浦添村仲間附近偵察別紙要圖第一ノ如

ク配宿ヲ實施ス

八月二十五日 那覇戰團司令部閉鎖浦添村仲間附近ニ移駐ヲ完了ス

4. 衛兵隊

戰團司令部直接警戒班並陣中其他ニ野積セル隊屬貨物ノ監視ニ任シ殘餘

ノ兵力ハ揚陸及貨物ノ前送ヲ實施スル外管理班ノ實施スル宿營設備ヲ援助ス

兵務部

幕下各部隊員差出ノ兵力ヲ以テ業務班ヲ編成シ師團兵器庫ノ揚陸並ニ前

5. 兵務部

八月二十五日浦添村仲間兵器庫部ヲ開設シ兵器業務ヲ實施ス

6. 經理班

幕下各部隊員差出ノ兵力ヲ以テ經理班ヲ編成シ師團糧秣資材ノ揚陸並ニ

前送ニ務ム

7. 軍醫部

八月二十五日浦添村仲間軍醫部ヲ開設シ業務ヲ實施ス

8. 防務班

八月十九日 軍醫部長ノ命ヲ受ケ上陸間那覇港埠頭ニ救護班ヲ開設ス

谷地

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

八月二十五日 浦添村仲間宿營業務ヲ開始ス

仲間戰團司令所ニ於ケル狀況(自八月二十五日)

八月二十三日各部隊ヲ浦添村仲間附近地區ニ前進戰團司令所ヲ開設シ沖繩本島

中地區ノ防衛竝ニ作戰準備ヲ日夜實施ス

各部隊ノ狀況左記ノ如シ

參謀部

1. 各係參謀將校ヲシテ警備地區ノ實地踏査ニ依ル綿密ナル偵察ヲ以テ警備

指導計畫ヲ立案スルノ外情報班並ニ兵要地誌班ヲシテ爾後作戰ノ爲メ諸

種ノ情況ヲ調査シ重ニ報告ノ外懸下各係ニ教示シ作戰準備ノ本據トス

2. 九月部隊長會同以實際地誌戰準備計畫作戰團ノ指導ヲナス

3. 十月教育主任者會同ヲ實施シ十月廿五日入營初年兵ノ教育方針並ニ取扱

上ノ注意ヲ實施ス

4. 十月十日空襲作戰ニ參加作戰後被害狀況並ニ次期作戰ヘノ諸準備ヲ爲ス

5. 十月九日第九師團轉進ニ伴フ師團警備地區變更ニ關シ部隊長會同實施ス

6. 十月廿二日軍ヲ想定シ基キ以テ號演習ヲ實施ス

7. 十月廿二日獨歩二七二大隊同二七三大隊那覇港ニ上陸掩護下ニ入ランメラレ

之ガ宿營給養並ニ總運部ヲシテ指導セシム

2. 副官部

1. 師團副官業務ヲ實施スルノ外管理班ニ兵力ヲ増強シ部内防衛築城作業ヲ

實施ス

2. 甲乙并發發馬ヲ以テ不足中ノ部附ニ乘馬ヲ貸與シ之ヲ充足セリ

3. 管理班並ニ警備班トシテ各係部員並ニ首里等ニ派駐シ其ノ警備

4. 部内ノ宿營給與ヲ擔任スルノ外各部隊ヨリ差出ス兵力ヲ統一指揮シ防衛

5. 築城ヲ實施スルニ對シテ各係部員並ニ隊員ニ關シテハ其ノ指導

6. 各部隊築城陣地配屬狀況別紙要圖第一ノ如シ

7. 警備馬ヲ增加警備係將校ヲ以テ指導ヲ實施ス

4. 兵器部

1. 伊禮ニ駐在シ兵器勤務隊ヲ指揮シ逐次補給サレル兵器彈藥ノ處理並ニ補

2. 具給計畫ヲ擬シ各部隊ニ補給ヲ實施ス

3. 經理部並ニ各係部員並ニ隊員ニ關シテハ其ノ指導

4. 當山ニ位置シ師團ノ給與補給ヲ實施スルノ外別紙要圖第三ノ如ク野戰倉

5. 十車ヲ開設シ糧秣ヲ集積並ニ補給ヲ實施ス

6. 自活地自活班ヲ編成シ當山、我謝ニ自活農園ヲ開設爾後ノ自活ヲ準備ス

7. 軍需部並ニ各係部員並ニ隊員ニ關シテハ其ノ指導

8. 浦添村仲間ニ位置シ師團衛生機關ヲ運用スルノ外熱地作戰準備トシテノ沖繩

9. 本島内結核狀況調査對策ヲ實施ス

10. 衛生機關トシテ本島内癩患者ノ收容ヲ實施ス

11. 防疫給水班ニ對シテ各係部員並ニ隊員ニ關シテハ其ノ指導

1. 浦添村阿波茶ニ位置シ師團警備地區内ノ水源調査ヲ實施シ戰團間ノ給水

ニ關シテ諸準備ヲ計畫實施ス

2. 浦添村仲里ニ位置シ師團警備業務ヲ處理ス

3. 十月第九師團ヨリ保管轉換馬二十頭ヲ隸下各歩兵部隊機動用トシテ繋畜

保管轉換ヲ行フ

4. 十二月師團編成ヲ原編成ニ復歸スルニ及ビ地方馬ノ徵發ヲ實施ス

5. 首里戰團司令所開設ヨリ戰團開始迄(自十九年十二月

至二十年三月二十五日)

十二月第九師團轉進ニ伴ヒ師團警備地區知念牛島及那覇地區ヲ含ムニ至リ戰團

司令所ヲ首里ニ移駐シ隸下各部隊ノ作戰準備ヲ指導ス 各部隊ノ狀況左ノ如シ

參謀部

1. 新警備地區ノ偵察並ニ之ニ基ク新警備ノ指導方針立案警備移動ヲ指導ス

2. 十二月第九師團ヨリ警備資材ヲ繼承ス

3. 十二月隸下各部隊長ヲ集合セシメ新警備地區ノ繼承ニ關スル作戰會同ヲ

實施ス

4. 第九師團ノ轉進完了ニ伴ヒ戰團司令所ヲ首里市ニ移轉シ得ル如ク逐次準

備ヲ進メ一月廿日其ノ移轉ヲ完了ス

諸情況ヲ考察シ防衛施設ノ促進ヲ期スル爲警備地區ニ對シ二月防衛召集

ヲ實施ス

1. 三月一日第二回現地利年兵入營ス

2. 副官部

1. 十二月師團警備ニ留守部開設ニ伴ヒ留守名簿ノ作製、庶務係ノ外留守名簿

係將校ヲ増員隸下部隊ハ留守名簿完成ト共ニ係將校外外陸軍省ニ提出

留守名簿ニ關シテ研究打合せス

2. 仲里ニ於テ既設築城施設ヲ歩兵第六十三旅團司令部ニ移讓シ首里市ニ

於テ第九師團ヨリ築城既設施設並ニ師團司令部後方機關ヲ繼承シ之カ轉

移ニ銳意努力ニ月中旬移轉ヲ完了セリ

3. 管理班

1. 師團司令部築城ノ爲工兵一小隊ノ配屬ヲ受ケ且ツ各部隊ヨリ差出ス兵力

ヲ統一指揮シ築城設備ノ完成ニ專念ス

2. 第一期對防空ヲ主トセル司令部要員ノ待避施設ノ完成ヲ首里高女(首里

市儀保町)附近ニ三月上旬完成ス

3. 第二期上陸セル敵ニ對シ戰團ヲ豫期シ首里市赤田町ニ第九師團ヨリ繼承

セル施設ヲ補備増強完成ヲ急グ主トシテ工兵一小隊ヲ以テス

4. 一月十日頃中ノ浦添村阿波茶ニ對シ水源調査ヲ實施ス

5. 浦添村阿波茶ニ對シ水源調査ヲ實施ス

6. 浦添村阿波茶ニ對シ水源調査ヲ實施ス

7. 浦添村阿波茶ニ對シ水源調査ヲ實施ス

8. 浦添村阿波茶ニ對シ水源調査ヲ實施ス

9. 浦添村阿波茶ニ對シ水源調査ヲ實施ス

10. 浦添村阿波茶ニ對シ水源調査ヲ實施ス

一月島嶼守備ノ特性ニ鑑ミ現地自活ニ徹スベク司令部自活計畫ヲ立案シ
首里市石嶺ニ約三町歩ノ自活農園ヲ開設シ仲間ニ於ケル農場施設ハ歩兵
第六十三旅團司令部ニ移譲ス

二十一年二月狀況ノ進展ニ伴ヒ爾後補給品ニ依ル給與不可能ナル狀況ニ鑑
司令部内給與非テ對策要領ヲ立案シ之ヲ連時斷行シ諸給養ノ緊縮ヲ計ル
首里移轉後ノ各部隊ノ配宿狀況別紙要圖第四ノ如シ

兵器部
十二月管備地區一部變更ニ伴ヒ諸見里彈藥集積所ヲ閉鎖シ島尻郡大里村
高宮塚ニ彈藥集積所ヲ開設シ主トシテ歩兵第六十四旅團ニ對スル補給ヲ
實施ス

二十一年一月嘉數ニアル兵器部ヲ閉鎖シ首里市赤田町ニ開設ス
自動車修理所ヲ同所ニ新設ス

二十一年一月知念牛島地區外ハ第六十四旅團管備地區ヲ獨混四四旅團ニ移
讓シ那覇地區ニ轉移スルニ及ビ陸軍要領變更ニ伴ヒ大里村高宮塚ニ集積所
アリタル彈藥ヲ首里島邊ニ移送集積ス

三月上旬ヨリ内地補給品意ノ如クナラサル爲之レガ對策トシテ現地所在
物資ヲ以テスル兵器器具ヲ創作ス
對戰車用急造爆雷、點火具、手榴彈等製作ス

經理部
二十一年中旬當山ニ在リシ經理部ヲ閉鎖シ首里市石嶺ニ移轉シ業務ヲ開始ス
野戰倉庫ヲ左ノ如ク轉移ス

諸見里 島尻郡平良 (菊地中尉) 主トシテ
64 箱
15tbs
21tbs
23tbs
ニ對スル補給
西原 前田 (實井少尉) 主トシテ
62D 司
63 箱
12tbs
13tbs
14tbs
ニ對スル補給集積
神山 菅里 (小笹少尉) 主トシテ
11tbs
22tbs
竝ニ兵國豫備糧秣集
積ス

他ニ與那原、大山、泡瀬神山ニ集積所ヲ國野地區ニ對シ(國野郡金武村)
田中中尉ヲ長トシ伐採隊ヲ派遣シアリテ築城材料薪炭ヲ採取海上輸送ヲ以
テ與那原ニ輸送セリ
二十一年二月獨歩第六十四旅團ノ配備變更ニ伴ヒ島尻郡平良ニ閉鎖シ
別紙要圖第五ノ如ク處理ス

軍醫部
二十一年一月浦添村仲間ニ在リシ軍醫部ヲ閉鎖シ首里市赤田町ニ移轉シ師團
生ヲ統理ス

獸醫部
二十一年一月浦添村仲間ニ在リシ獸醫部ヲ閉鎖シ首里市赤田町ニ移轉シ師團
獸醫衛生ヲ統理ス

只、數次不備地處ヲ移動シ築城作業ノ急切ナルモノアリ加ウルニ新徵發馬

ハ飼養管理ノ急變ニ付歩兵大隊ノ馬事不振ノ狀況ニアリ之ガ馬事指導

將校及兩歩兵旅團ニ各一名輜重隊ヨリ派遣馬事ノ普及ニ當ラシムルノ外

原田秋隱部見習士官ヲ獨歩第六十四旅團ニ派遣シ馬事衛生ヲ指導セシメ

多量ニ
8. 防疫給水班編成中、順々ニ実施ス

十二月中旬新三指揮下ニ入りテ汝獨歩第三七三次隊急性熱性疾患多發(六八)

六名中三二八名ヲ爲作戦行動ニ重大ナル支障ヲ來シタルヲ以テ之ガ防疫ノ

爲班ノ主力ヲ那覇市北方邊邊ニ移駐シ防疫診療ヲ實施ス大ノ成果ヲ得テ昭和

二十年三月業務ヲ閉鎖シ首里市赤田町ニ移轉セリ

戰團開始時ヨリ首里戰團司令部ニ於ケル狀況
自三月二十五日
至五月二十五日

昭和二十年三月新師團長藤岡中將着任シテ、下ノ編成地處モ略々決定シタル

ヲ以テ銳意作戦準備ニ邁進シアリタル所三月二十三日敵ノ侵攻スル所トナリ各

部隊毎ニ各々ノ責務ニ從ヒ、戰術會議ヲ開キ、中隊トシテ、主イニモ、

ノ參謀部ヲ設キ、式ハ、儀ハ、備ス

イ、三月新師團長着任後、下部隊ヲ初度巡視シ、首里市ニ於テ、

ス、三月新營地處ニ對スル作戦指導ニ關シ、下指揮下各部隊長會同ヲ實施

シ作戦ニ關スル相互ノ連絡等ヲ實施ス

ハ、三月二十三日有力ナル機動部隊ヲ件フ敵航空部隊ノ攻撃ヲ受クルニ至リ

下、下各部隊ニ對シ、甲號戰備ヲ下令ス

ニ、直ニ首里高女附近野設陣地ニ入り、下指揮下各部隊ノ戰術ヲ指導スルノ

外、敵機動部隊ノ上陸ヲ豫期シ、首里市赤田町ノ陣地ニ移轉準備ヲ敵空襲下

ニ實施ス
ホ、三月二十五日敵機動部隊ハ本島西海面ニ出現上陸ノ企圖明カナルモノノ

如クアラ、以テ豫々準備シタル如ク、首里市赤田町ノ陣地ニ移轉ヲ實施

シ三月二十六日完了爾後赤田町ニ於テ戰團ヲ指揮ス

ヘ、赤田陣地ニ機具施設未完成ノ爲之ガ完成ニ努力スルノ外、陣地ノ補強ヲ畫

夜兼行實施ス

下、四月二日米軍ハ中隊ヲ嘉手納正面ニ上陸スル所トナリ、既定ノ作戦指導方

針ニ基キ作戦ヲ指導ス

六、四月八日敵ハ普天間ノ線ニ入りテ我ガ歩兵第六十三旅團正面ニ於テ攻撃

一時頓挫シテ、師團ハ反攻ヲ企圖シ、攻撃ヲ準備シタルモ、革命ニ基キ此ヲ

中止ス

リ、司令部ハ首里復讐陣地内復讐ノ一部ヲ擔任スベク各部隊ニ別紙要圖第六

ノ如ク陣地構築ヲ晝夜專念ス

ス、四月月中旬優勢ナル敵砲撃ハ我ガ通信網切斷サレ、連絡意ノ如クナラズ獨

立ニ

立ニ

立ニ

立ニ

立ニ

立ニ

立ニ

立ニ

立ニ

立ニ

歩第六十四旅團正面ノ戦況又利ヲサレ爲楠瀬參謀ヲ派遣シ直接戦場ヲ指導ス

八、五月初旬克ク力戦奮闘シテリタル歩兵第六十三旅團正面モ優勢ナル敵ハ逐退之シシ糧食スル所トナリ歩兵第六十三旅團司令部ヲ首里市平良町ニ後進戦線ヲ集約シ首里市内復廊シ一部ヲ擔任シアリシ陣地ヲ獨歩第十一大隊ニ移譲シ師團ハ別紙要圖第六ノ如ク直接戦場ノ爲シ陣地ヲ戦團司令所洞窟附近ニ構築シ精兵ノ志氣益々旺シナリ

本、五月二十三日戦況愈々不利ナルヤ軍令ニ基キ師團ハ島尻郡山城ニ轉進ノ爲陣地偵察並ニ糧準備ノ爲楠瀬參謀及配屬中ノ田中大尉ヲ偵察將校トシテ暗號班一分隊無線機ヲ附シ先遣ス島尻郡嘉數ニ於テ艦砲射撃ノ直撃彈ヲ爲楠瀬參謀及田中大尉壯烈ナル戦死ヲ遂ク

又、五月二十六日師團ハ軍命ニ基キ首里ノ配屬ヲ撤シテ山城ニ向テ轉進セリ副官部二十五日戦況報告ニハ今島山附近ニ出陣シ過シ金剛山ヲ越スルノハ昭和二十三年三月新師團長島崎中將着任司令部各隊ノ伺候式實施

三、三月二十五日首里高女陣地ヨリ首里市赤田町陣地ニ移轉完了副官部業務實施ノ外陣地ノ補強増強ニ努ムルニテ赤田町赤田山ノ陣地ヲ築クハ四月八日師團政務準備部長志氣旺盛ナリ

六、五月二十六日島尻郡山城ニ向テ後進轉進ノ爲首里市赤田町陣地ヲ出發ス
3. 管理班 二十六日二十三日首里市赤田町ニ出陣ス
イ、首里市赤田町現地防衛召集者三〇〇名入隊内一〇〇名ヲ經理部ヘ配屬約五百名之兵器部ヘ配屬シ殘五〇名ハ對シ防衛業務ヲ實施スル外教育訓練ヲ實施ス

五、三月首里高女附近陣地既成サシタルヲ以テ赤田町陣地完成ニ主力ヲ傾注セリ
六、三月下旬防衛任務終了シ復歸セラルヲ以テ首里市赤田町ニ配屬シ宿營給養ヲ擔任セリ

四、三月二十三日夜優勢ナル機動部隊ヲ有スル敵ノ大規模ヲ受ケル所トナリ我が本島ハ敵ノ侵攻明日トナリ甲號戦艦下令サレ晝夜兼行被服糧秣其ノ他司令部所有ノ物品ノ格納ヲ赤田町ニ實施シ首里高女ヨリ其ノ移轉ヲ三月二十五日完了ス

本、三月二十六日豫備隊服ヲ各部隊ニ交付戦團準備ニ遺憾ナキヲ期ス
物資調換班ヲ編成シ主力ヲ野炊並ニ訓練ニ専斷シ指向シ洞窟内生活ニ對シテ各「ウイタシン」缺之ヲ補給シ遺憾ナキヲ期シ長期持久ノ給養ヲ實施ス

六、三月二十五日幕僚部ヲ赤田町移轉ニ伴ヒ軍醫部獸醫部ヲ首里高女ノ陣地ニ移轉シ變換給養物給養ス

ト、幕僚部各班ヨリ差出兵力ヲ統一指揮シ部内陣地ノ補強ニ努ム

ニ、四月中旬ヨリ各隊ノ移動頻繁ナル爲退院患者ノ原所屬復歸ノ連絡ニ立寄ル患者ノ宿營給養ヲ擔任スルノ外戦況益々進展スルニ及ビ傷病者數ノ増發ノ爲一部部内救護班ニ收容セル患者ノ給養ヲ擔任ス

ハ、五月初旬工兵隊ニ配屬中ノ作井第十四中隊ノ一小隊ヲ配屬セシメラレ陣地内ニ作井ヲ實施シ五月二十日ニ完成シ持久防禦ノ貫徹ニ邁進ス

又五月二十四日軍命ニ基キ師團ハ鳥尻郡山城ニ後退配備スル事トナリ尾大尉ヲ偵察將校トシ同時防召及各班ヨリ差出兵力ヲ以テ約五〇名ノ輸送隊ヲ編成シ糧秣ヲ輸送ヲ實施ス

五月二十六日夕師團ハ首里出發山城ニ向ヒ前進セリ

兵器部

イ、三月二十三日聯隊連合ノ爆撃開始サレ四月一日敵上陸シ其ノ進攻速度ニ伴ヒ四月初旬柵原集積彈藥ヲ首里附近ニ撤收ス

ロ、四月初旬聯隊ニ依リ軍保有兵器彈藥ノ急速放出ニ依リ之ヲ受領シ部下各部隊ニ補給輸送ヲ實施ス

ハ、五月二十四日軍命ニ基キ鳥尻郡山城ニ師團ハ後退配備スル所トナリ之レガ偵察ノ爲道次中尉ヲシテ先遣偵察ヲ實施セシム

ニ、五月二十六日二十時首里出發山城ニ向フ

イ、五月二十八日道次中尉偵察準備セル陣地ニ入り首里ヨリ兵器彈藥ヲ移送シ且ツ兵器彈藥ノ收集補給ニ努ム

ロ、經理部二十五日國野中尉ヲ遣ハシ鳥尻郡山城ニ赴キ

イ、三月二十五日國野ヨリ田中中尉以下國野地區木材伐採隊ニ物資調達班

ヲ以小林伍長ニ名ヲ畑中伐採隊ニ發遣シ全員經理部ニ復歸シ部長ノ掌握下ニ入ル

ロ、三月下旬狀況ノ切迫ニ伴ヒ晝夜兼行洞窟ノ整備集積品ノ整理ヲ實施シ爾後補給ニ萬全ヲ期シ概ネ月末完成シタルヲ以テ各隊ヨリ來部セル作業

兵ハ一部ヲ發遣シタル後全員ヲ各隊ニ復歸セシム

ハ、四月一日夜間ヲ利用シ宜野灣陣地前方ニ在ル神山集積所ノ集積糧秣ヲ輸

送シ米 五〇〇〇梱中 三、五〇〇梱

ニ、四月十日貨物搬ヨリ地下足袋、被申、「ロソク」ヲ補給ヲ受ケ防毒夜間行動用地下足袋洞窟内作業用「ロソク」ヲ整備補足シ部隊ニ補給ス

本、分任官吉田豐治中尉兵團各部隊前後資金ノ返納整理ヲ爲シ第三十二軍經理部ニ返納ス

ク、五月初旬一般ノ情勢漸ク不利トナリ前線ノ兵力減耗スルヲ以テ野戰病院ヨリ配屬セラレシ衛生兵及歩兵大隊ヨリ配屬中大部兵力ヲ原所屬ニ復歸セシムルニシテ、

ハ、五月二十六日戰團司令部共ニ山城ニ後退ス五月二十四日瀝水器乙一機ヲ以テ一部ヲ偵察ノ爲先遣隊ニ同行セシメタリ

8. 獸醫部

三月二十五日養休部ノ赤田町陣地ニ轉移スルニ伴ヒ軍醫部ト共ニ首里高女ノ陣地ニ移轉ス爾後車震部ト共ニ宿給養ヲ實施ス

五月二十六日戰團司令部共ニ馬尻郡山城ニ向ヒ後退前進セリ

山城後退ヨリ玉碎ニ至ル狀況 (自五月二十五日 至六月二十二日)

戰況益々不利ノ態勢ニテリ軍ハ右獨混第四四旅團左第二十四師團ヲ以テ陸正高ノ第二線トシ第六十二師團ヲ喜屋武陣東西兩海正面ニ對シ防衛スル如ク沖繩本島最南端ニ戰線ヲ集約スル所トナリ五月二十六日夕獨歩二十二大隊ヲシテ後衛ラシメ首里出發途中獨歩第六十四旅團ノ襲却攻勢ヲ指導シツツ山城ニ向ヒ後退ス山城ニ在リテ戰團ヲ指導ス各部隊ノ行動次ノ如シ

參謀部

五月二十六日夕首里出發津嘉山ニ至リ戰團ヲ指揮ス

先遣參謀補瀨少佐戰死ノ報アリタルヲ以テ部附將校鶴田少尉ヲ先遣シ爾後ノ戰團ヲ準備セシム

五月二十八日四時津嘉山到着シ元軍經理部洞窟ニ於テ戰團ヲ指揮ス

五月二十九日二十一時津嘉山出發東風原山兵團防給陣地ニ五月三十日三時到着戰團ヲ指導ス三十日晝間敵機ノ猛炸撃ヲ受ク

五月三十日二十四時東風原出發新城ニ向フ

五月三十日三時新城到着戰團指揮

六月一日新城出發山城ニ向フ六月二日二時山城ニ到着戰團司令部ヲ開設シ各部隊ヲ整備ス

六月五日陸正面ノ戰況急ラツゲルニ及ビ歩兵第六十四旅團ヲ第二十四師團及ビ獨混四四旅團ノ中間ニ前進セシメ此レヲ山城ニ於テ指揮中獨混第四四旅團正面又戰況急アルヲ以テ獨歩六十三旅團主力ヲ同方面ニ前進セシムル所トナリ

六月五日陸正面ノ戰況急ラツゲルニ及ビ歩兵第六十四旅團ヲ第二十四師團及ビ獨混四四旅團ノ中間ニ前進セシメ此レヲ山城ニ於テ指揮中獨混第四四旅團正面又戰況急アルヲ以テ獨歩六十三旅團主力ヲ同方面ニ前進セシムル所トナリ

ハ、軍部戰團司令部ノ前進ヲ命ゼラレ管理班尾形少尉ヲシテ偵察ヲ實施セシムルノ外連絡將校ヲシテ高級副官原中佐ヲ摩文仁ニアル軍司令部ニ到ラシメ狀況其ノ他ニ關シ連絡ス

ト、戰況益々我ニ利ラズ軍命急ナルニ依リ六月十八日二十四時師團長藤中將ハ戰團指揮ニ最少ノ要員ヲ引具シ米須附近ノ敵線ヲ突破シテ摩文

仁軍司令部ノ位置ニ向テ前進ス

山城ニ各部隊ヲ發着後各部ヲ元ノ戰團司令部ニ集結シ同所ニアリタ
ル江兵隊長金沐少佐高級副官原中佐隨着迄ノ防衛隊長ハ決シ各部及所在

ノ江兵隊長、通信隊ヲ以テ山城防衛隊ヲ結成ス
六月廿九日午前發着セル山城防衛隊トシテ通信交信シアリタルモ午後通信

杜絶戰況益々不利六月二十一日優勢ナル敵ノ攻撃ヲ受クルニ至リ部下ニ
對シ強勵ヲ命ジテ奮死スルヲ期ス

六月廿二日師團長參謀長參謀少尉六十三旅團長相續キ壯烈ナル戦死
ヲ遂ケタルニ至リ

2. 副官部(含ム管理班)

1. 五月二十日夕戰團司令部要員ヲ除ク全員ヲ尾形少尉ニ指揮セシメ山城
ニ向テ前進セシム

五月二十一日夕尾形少尉以下管理班ノ要員ヲ含ム全員無事到着
五月二十八日夕到着セル各部隊ノ全兵力ヲ指揮シ元第二十四師團歩兵第

三十二師團第一大隊ノ陣地ヲ補強シ戰團司令部開設ニ遺憾ナキヲ知
スベク準備ス

當時ノ配備狀況別紙要圖第七ノ如シ
6. 陣地ノ補強ノ外物資調製班種糧班ヲ編成シ、後退ノ爲物資最モ不足

ナル狀況ニアルヲ以テ調製班ハ所在ノ物資ヲ集收一木一石タリトモ敢テ戰
力化スベク努力ス

又糧送班ハ第二十四師團ヨリ種糧ノ移讓ヲ受ケ武富新垣方面ノ集積種糧ヲ
各集積地ニ後送セリ

6. 六月二日陣地ヲ完成セリ
六月三日戰團司令部到着ス

3. 兵器部

5. 五月二十日師團司令部所傳進ト共ニ喜屋武村東邊名五月二十八日四時
兵器部開設各部隊ヘノ補給ヲ準備スルト共ニ陣地ノ整備ニ努力ス

6. 六月二十日午後戰車ヲ伴フ歩兵約五〇〇陣地前面ニ出現ス
日夜迄交戦シ敵後退シタルヲ以テ司令部主力タル元ノ戰團司令部山城ノ陣

地ニ集結師團殘留主力ト合シ防備ノ強化ニ努メタリ
兵器部長ハ兵力ヲ 敵陣ヲ突破シテ山城ニ殘留シアル師團主力ニ合流中

敵陣ニ依リ壯烈ナル戦死ヲ遂ゲ

經理部

1. 五月二十六日司令部ト共ニ首里撤退山城ニ經理部ヲ米須福地伊原ニ集積所
ヲ開設種糧ノ補給ニ任ス

六月二日伊原集積所ヲ閉鎖山城ヘ移轉ス

當時ノ狀況將兵被勞具ノ極ニ達シ且絶對優勢ナル砲爆撃下行動後送糧秣

意ノ如クヲラス爲ニ僅少ナリ

山兵團ヨリ若干ノ補給ヲ受ケ先ニ後送セル糧秣ト合シ辛ウジテ補給ヲ實

施スルモ各部隊ノ要求ヲ充スニ僅少ナルモノデアッタ

車庫物敷ヨリ中森少尉以下士官三名死傷サレ部員ヲ強化サレタルモ糧

秣ノ蒐集意ノ如クナラス

六月十日山難ルル狀ノ下經理部長以下全員回結シ兵團經理ヲ支障ナク

遂行セシメ依リ師團ヨリ調ヲ授與ラル

六月二十日米須集積場長兼地中尉以下所在ノ部下共ニ全員斬込ヲ敢行

英海軍部ヨリ...

六月二十日福地集積所閉鎖小笠少尉以下全員最後ノ斬込ヲ敢行セリ

六月二十一日山城ニツル經理部長以下全員最後ノ斬込ヲ敢行セリ

車庫部ニ防給水班

五月二十六日戰團司令部共ニ山城ニ退山城ニ在リテ衛生業務ニ從事

六月十八日戰團司令部所屬文仁ニ轉進ト共ニ元戰團司令部所屬地ニ集結殘留

者相團結シテ兵隊長金木少佐ノ指揮ニ入り戰團ヲ實施

六月二十日守備陣地ニ米車來襲セラルヲ以テ全力ヲ擧テ交戦十六時敵ヲ

撃退、戦死西山伍長、瀬古兵長、田中上等兵

ニ、六月二十一日拂曉戰車五輛ヲ件フ敵歩兵約五〇〇ハ上里方向ヨリ襲撃サ

レ兵器彈藥ノ射耗甚ダシク衆寡敵セズ如何トモナシ難ク六月二十二日部

長以下全員斬込ヲ敢行セリ

6. 獸醫部

イ、五月二十六日戰團司令部ト共ニ山城ニ轉進五月二十八日山城ニ到着

六月十八日元戰團司令部所屬陣地ニ合シ金木少佐ノ指揮ニ入り山城ノ防衛ニ

任シ六月二十二日部長以下全員敵中ニ斬込ヲ敢行セリ

山城ニ於ケル戰團狀況

イ、六月十八日戰團師團長戰團指揮ニ最少ノ要員ヲ引具シテ摩文仁ニ戰團司令

所ヲ前進殘留各部隊ハ元ノ戰團司令部ノ位置ニ兵力ヲ集約シ工兵隊長金木

少佐ノ指揮ニ依リ陣地ノ補備増強ニ務メアル所

六月十九日伊原方向ヨリ戰車ヲ件フ敵歩兵約七〇〇ガ攻撃シ來リ其ノ一部

約三〇〇ノ歩兵十五時以撃シ來リ豫定ノ如ク陣地ニ着キ激戰奮闘多ク戰

果ヲ擧ゲ克ク之レヲ退退セリ

六月二十一日拂曉上里方向ヨリ戰車五輛、歩兵五〇〇ノ攻撃ヲ受ケ戰車

資材缺乏ノ狀況ニテリ且炎火増放射ニ依リ洞窟及野外陣地ヲ分斷サレルニ

...

...

...

...

...

...

...

...

...

